

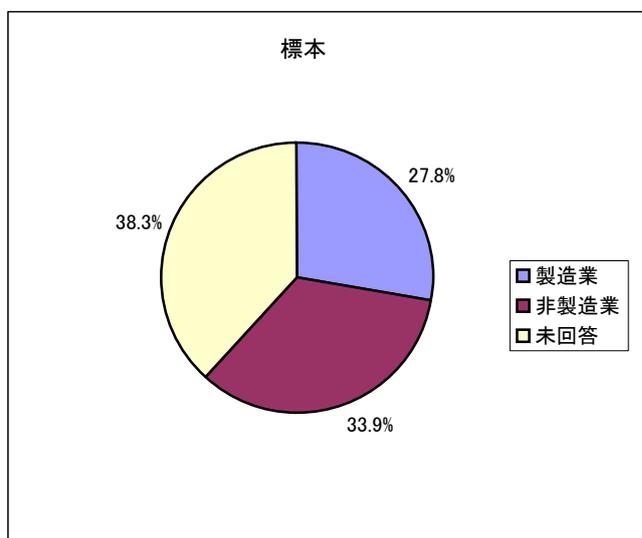
A. 調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
2. 調査期間 平成17年2月1日～9日
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 当所部会役員131社中、大企業を除く中小企業115社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

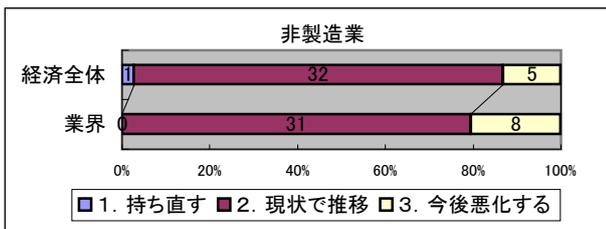
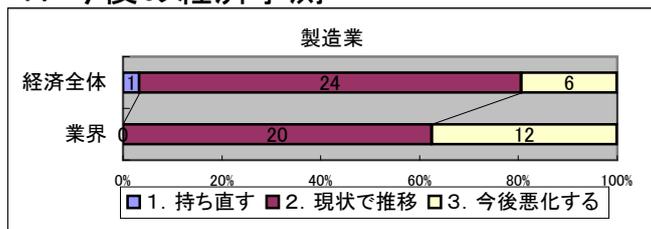
5. 標本数

	調査対象	回答		調査対象	回答	回答
一般工業	17	10	製造業	68	32	47.1%
建設業	18	8	非製造業	47	39	83.0%
醤油工業	4	2	合計	115	71	61.7%
食品工業	10	3	未回答		44	38.3%
皮革工業	19	9				
公益業	11	10				
サービス業	9	7				
商業	27	22				
合計	115	71				

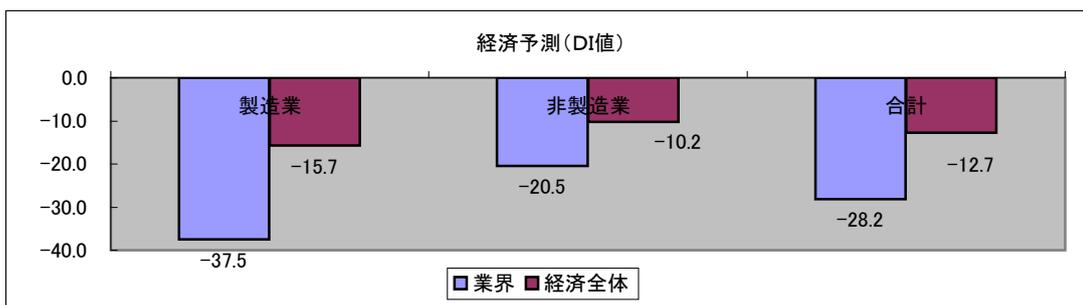


B. 調査結果

1. 今後の経済予測

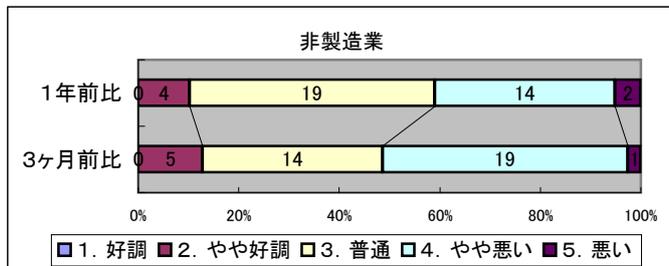
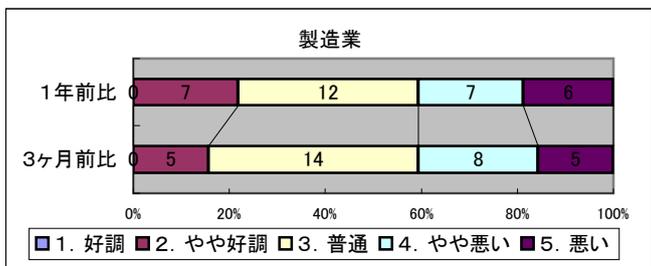


DI値	業界	経済全体	業界(前回)	経済(前回)
製造業	-37.5	-15.7	-17.7	2.9
非製造業	-20.5	-10.2	-28.6	0.0
合計	-28.2	-12.7	-23.2	1.4

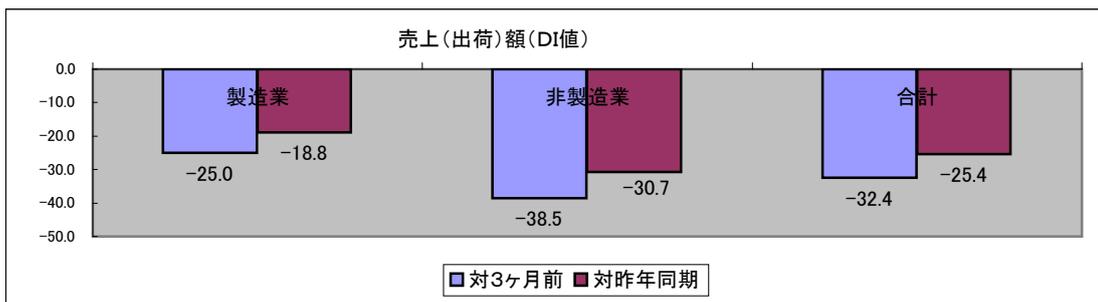


* 業界における経済予測において製造業ではDI値が19.8ポイント、マイナス値が拡大したが非製造業では約10ポイント、マイナス値を縮小した。経済全体では両者ともに10ポイント以上マイナス値を拡大したが、ここでも製造業は18.6ポイント、マイナス値が拡大した。製造業・非製造業とも見方は依然として厳しいが、自社業界予測において製造業ではマイナス値が大きく拡大したのに対して、非製造業ではマイナス値を縮小しており、各業界が大きな局面に直面していると思われる。

2. 売上(出荷)額について

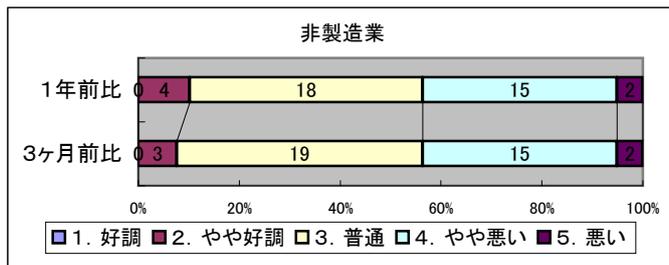
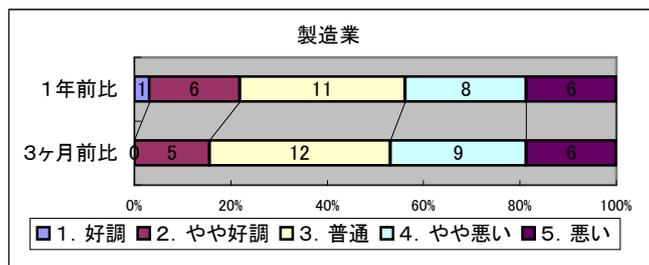


DI値	対3ヶ月前	対昨年同期	対3ヶ月前(前回)	対昨年同期(前回)
製造業	-25.0	-18.8	-20.6	-14.8
非製造業	-38.5	-30.7	-22.9	-25.7
合計	-32.4	-25.4	-21.7	-20.4

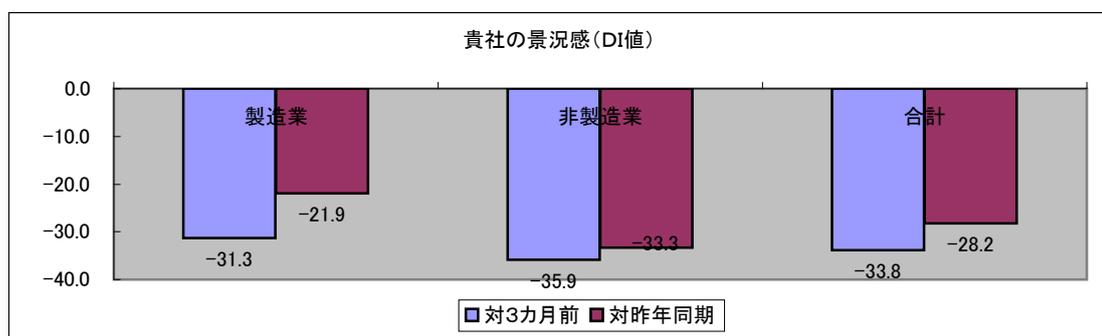


* 製造業・非製造業ともに3ヶ月前比、前年同月比でDI値のマイナス値が拡大した。特に非製造業では対3ヶ月前比のマイナス値が15.6ポイント悪化した。3ヶ月前比、1年前比とも悪化傾向にあるが非製造業の3ヶ月前比のマイナス幅は製造業と比較しても著しく、急激なスローダウンが窺える。

3. 景況感について



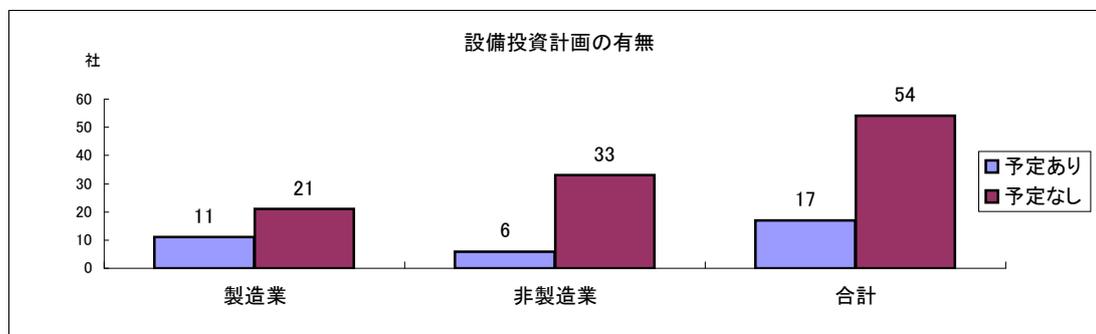
DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3ヶ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-31.3	-21.9	-20.6	-26.6
非製造業	-35.9	-33.3	-34.2	-48.7
合計	-33.8	-28.2	-27.6	-30.5



* 昨年同月比の製造業では4.7ポイント、非製造業では1.0ポイントマイナス値が縮小したが、3ヶ月前比の製造業では10.7ポイント、非製造業では1.7ポイントマイナス値が拡大した。昨年に比べ僅かながら回復感は見られるものの、3ヶ月前比において悪化しており景況感においては頓挫した感がある。また製造業と非製造業の3ヶ月前比の動向(▲10.7%対▲1.7%)が大きく乖離したのはいたのは停滞感が非製造において早く、製造業において遅く現れたものと言えようが現時点では予断は許されない。

4. 設備投資計画について

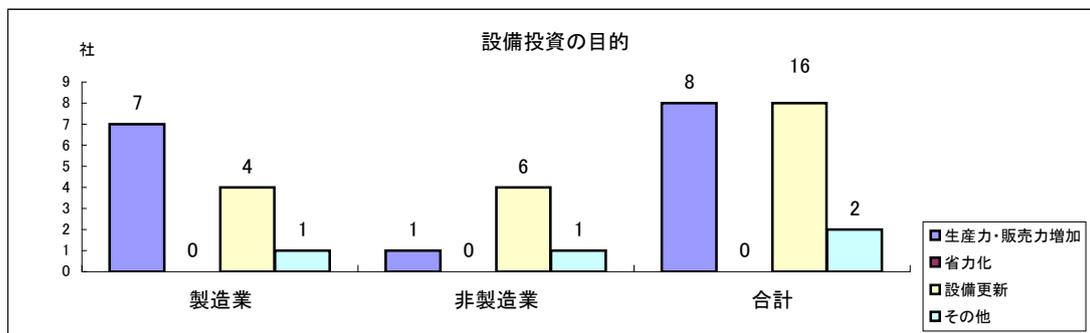
	予定あり	予定なし	合計
製造業	11 [34.4%]	21 [65.6%]	34 [100.0%]
非製造業	6 [15.4%]	33 [84.6%]	35 [100.0%]
合計	17 [23.9%]	54 [76.1%]	69 [100.0%]



* 製造業では35%、非製造業では15%が設備投資への計画を予定している。

5. 設備投資目的について

	生産力・販売力増加	省力化	設備更新	その他	合計
製造業	7	0	4	1	12
非製造業	1	0	4	1	6
合計	8	0	8	2	18



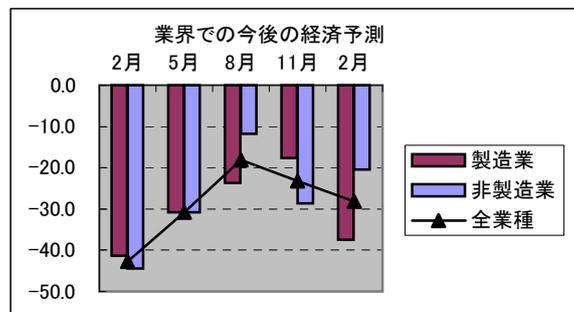
* 製造業では生産力・販売力増加への設備投資計画が最も多く、非製造業では設備更新への設備投資計画が最も多くを占めた。

コメント： 製造業・非製造業とも経済予測、売上(出荷)額、景況感の3項目全てにおいての見方は依然として厳しい状況にあり、先行きに不透明感が感じられる。昨年5月・8月をピークに製造業・非製造業ともなだらかな悪化傾向をたどり、製造業においては経済予測でも回復の兆しが見られないことから、今後の景気動向が懸念される。

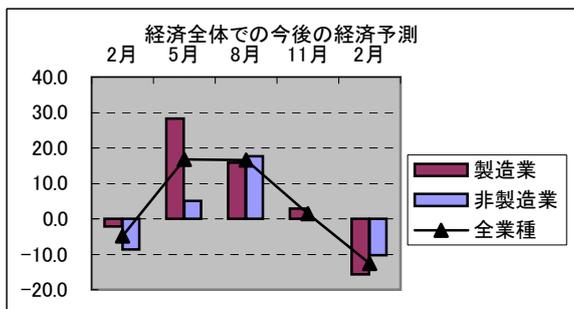
C. 期別DI値の推移

1. 今後の経済予測

業界	2月	5月	8月	11月	2月
製造業	-41.3	-30.8	-23.7	-17.7	-37.5
非製造業	-44.4	-30.8	-11.8	-28.6	-20.5
全業種	-42.7	-30.8	-18.1	-23.2	-28.2

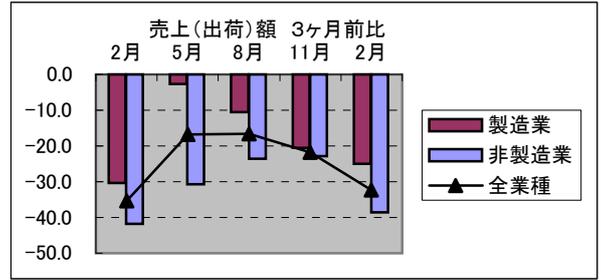


経済	2月	5月	8月	11月	2月
製造業	-2.2	28.2	15.8	2.9	-15.6
非製造業	-8.6	5.1	17.6	0.0	-10.3
全業種	-4.9	16.7	16.7	1.4	-12.7

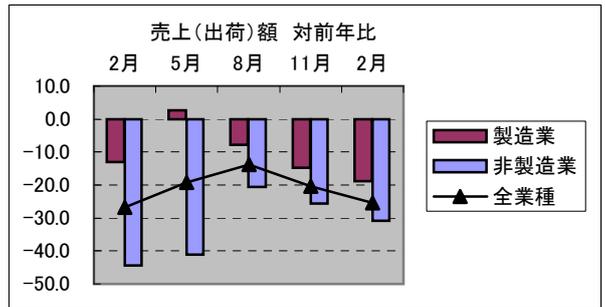


2. 売上(出荷)額

対三ヶ月前	2月	5月	8月	11月	2月
製造業	-30.4	-2.6	-10.5	-20.6	-25.0
非製造業	-41.7	-30.8	-23.5	-22.9	-38.5
全業種	-35.4	-16.7	-16.7	-21.7	-32.4

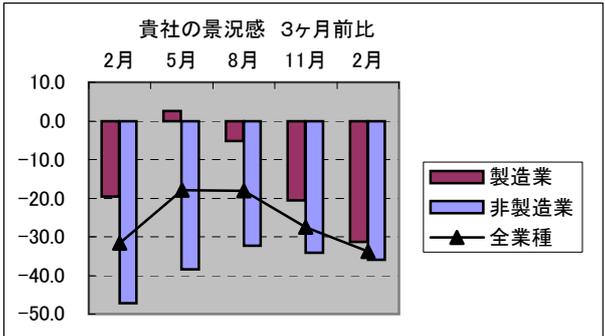


対昨年同期	2月	5月	8月	11月	2月
製造業	-13.0	2.6	-7.9	-14.8	-18.8
非製造業	-44.4	-41.0	-20.6	-25.7	-30.8
全業種	-26.8	-19.2	-13.9	-20.4	-25.4



3. 貴社の景況感

対三ヶ月前	2月	5月	8月	11月	2月
製造業	-19.6	2.6	-5.3	-20.6	-31.3
非製造業	-47.2	-38.5	-32.4	-34.2	-35.9
全業種	-31.7	-17.9	-18.1	-27.6	-33.8



対昨年同期	2月	5月	8月	11月	2月
製造業	-15.2	0.0	0.0	-26.6	-21.9
非製造業	-41.7	-38.5	-23.5	-34.3	-33.3
全業種	-26.8	-19.2	-11.1	-30.5	-28.2

